

## 秋田市緑の基本計画の見直しに関する中間取りまとめについて

緑地の適正な保全、緑化の推進に関する施策を総合的かつ計画的に実施するためのマスタープランである「緑の基本計画」については、旧秋田市では平成10年3月、旧河辺町では平成13年6月にそれぞれ策定されていましたが、平成16年の景観緑三法制定による緑化推進制度の拡充や、平成17年1月の市町合併に伴う行政区域の拡大など、同計画を取り巻く状況が著しく変化しておりました。

そのようななか、本年4月に第11次秋田市総合計画がスタートしたことを契機として、「秋田市都市環境の創造および保全に関する審議会 都市緑化推進専門部会」で、緑の基本計画の見直しに関する議論を進めており、これまでに議論していただいた内容を、別添のとおりとりまとめましたので、お知らせいたします。

### [ 参考1 ] 今後のスケジュール

- 10月下旬～           パブリックコメント実施
- 12月中旬             都市緑化推進専門部会（4回目）
- 2月上旬              秋田市都市環境の創造および保全に関する審議会

### [ 参考2 ] 関連ホームページ

秋田市都市緑化推進専門部会ホームページ

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ur/pc/senmonbukai/h19senmonbukai.htm>

秋田市緑の基本計画（現行）ホームページ

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ur/pc/Green-ground-plan/Green-ground-plan.htm>

秋田市公園課ホームページ

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ur/pc/default.htm>

問合わせ先

秋田市都市整備部公園課 総務担当 児玉

〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号

TEL 018-866-2154 FAX018-866-2282



と緑のネットワークを形成します。

まもり残していくみどり

秋田市を代表する緑、すぐれた歴史的風土の緑、すぐれた農林業地、都市を代表する郷土景観等、次世代に残すべき緑については、その保全を図ります。

緑の目標水準

秋田市では、これまで「一人当りの公園面積」を緑の指標として用いてきましたが、市内の多様な緑を包含できないことや身近な緑に対する市民の実感を十分表現できていないことから、新たな指標として「市街地における緑地率」を用いることとします。

市街地における緑地率 30%

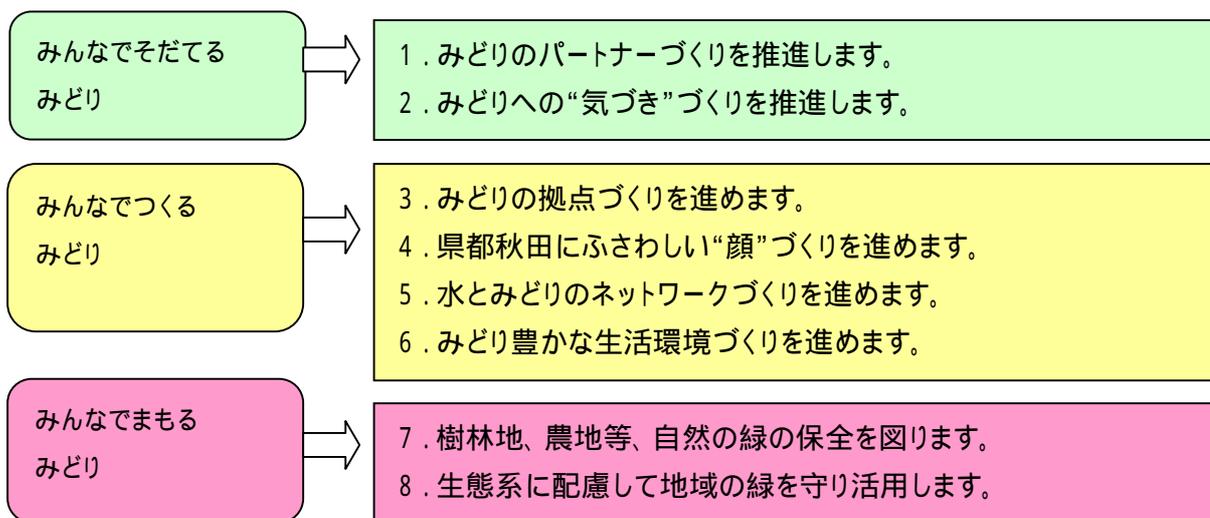
「市街地における緑地率」とは、市街地における一定の永続性が担保された緑地の割合を示したものです。公園や広場だけでなく、社寺林、道路の植樹帯、施設敷地内の樹木なども緑地としてかぞえられます。

市街地における緑地率 = 市街地内の公的な公園、広場および社寺林、道路の植樹帯、敷地内の樹木等 / 市街地面積

### (3) 緑のまちづくりの基本方針

< 基本理念 >

< 基本方針 >



### (4) 緑の将来像実現に向けた重点テーマ

秋田市における緑の現状を踏まえ、理想とする緑の将来像実現に向けて次の4つを重点テーマと位置づけ、事業化に向けた検討と実施を優先的に行います。

- 市街地における身近な緑の充実と緑の拠点づくりの推進
- 水と緑のネットワークの充実(街路樹の推進)
- 緑地保全、緑化推進のための法制度の活用
- 市民協働による都市緑化の促進

## 3. 緑地保全及び緑化の推進のための法制度の活用方針

### (1) 緑地保全のための法制度の活用方針

- ・ 市街地近郊及び市街地の周囲に広がる樹林地などについて、継続的に風致地区として保全するとともに、緑地保全地域、特別緑地保全地区の活用により緑地の保全を進めます。
- ・ また、とくに風致地区内にある民地の開発、公共事業等により重要な風致の保全が維持されない事態に対応して、特別緑地保全地区の指定、緑地保全地域の活用を進めます。
- ・ 市街地内にある貴重な緑については、地区計画等の活用を促します。
- ・ 特別緑地保全地区や緑地保全地域における緑地保全の推進のため、管理協定の締結や緑地管理機構の設立を検討します。

## (2) 緑化推進のための法制度の活用方針

- ・ これまでも建築協定、緑地協定などにより、緑化を推進してきましたが、地区計画の活用を促し、住宅地内の緑化を推進します。
- ・ 緑化重点地区の指定によるモデル的な緑化の推進を図ります。
- ・ 秋田駅周辺や山王官公庁などの中心市街地や緑の不足している住宅地等において、緑化地域制度の導入、市民緑地制度、緑化施設整備計画認定制度等の導入を促します。
- ・ 市民緑化制度や緑化施設整備計画認定制度導入に合わせ緑地管理機構創設を検討します。

## 4. 緑化重点地区計画

緑化重点地区の選定にあたっては、秋田市の緑の将来像を実現するための要素として5つ選定条件を設定します。

緑化重点地区の性格を踏まえ、市街地における緑化の充実、さらに身近な公園の整備充実を重点的に図り、先導する地区として、右図の6地区を位置づけます。

< 5つの選定条件 >

県都としてふさわしい“顔”となる地区

駅前など都市のシンボルとなる地区

都市マスタープランで位置づけられている「拠点」となる地区

緑が少ないまとまりのある住宅地

市街地を囲んでいる代表的な地区



## 5. 「緑のまちづくり活動支援基金(仮称)」の創設

緑に対する市民の満足度を維持しつつ、「緑あふれる環境を備えた快適なまち」を効率的に実現する仕組みの構築、さらに、多様化する市民による都市緑化事業の取り組みを支援できる、わかりやすい制度としての再編が求められています。

このため、これまでの花苗、苗木の交付や広場づくりなど市民協働による緑化活動を支援する制度を再編・一本化し、新しい都市緑化支援制度として「緑のまちづくり活動支援基金(仮称)」を創設します。

この基金では、市民からの提案、申請に基づき、審査を経て、資金の助成を行うことで、

市民自ら提案・実践する「緑のまちづくり活動」を支援します。これにより、市民の都市緑化活動に対する機動的な支援が可能となります。(別紙参照)

# 緑のまちづくり活動支援基金(仮称)の創設

別紙

## 現状と課題

公園や緑地、街路樹など緑の豊かさに対する市民の評価は高い  
現行の都市緑化施策は複雑かつ多岐にわたっており、市民にとって  
わかりにくい

近年、市民による都市緑化の取組みが多様化し、現行の都市緑化  
施策では機動的に対応できない

都市緑化施策について、「市民協働・都市内地域分権」および「受益  
と負担の適正化」の観点から見直しが要請されている  
都市緑化活動を通じた「家族と地域、人の絆づくり」への期待

緑に対する市民満足度を維持しつつ、「緑あふれる環境を備えた  
快適なまち」を効率的に実現する仕組みを構築する必要

多様化する市民による都市緑化の取組みを支援できる、わかり  
やすい制度へと再編する必要



市民による桜の  
植樹(新城川)



市民による広場  
整備(新屋)

「秋田市しあわせづくり市民意識調査」(H17)において、公園や緑地、街路樹などの緑の  
豊かさについて「よい」「どちらかといえばよい」と回答した市民は42.6% (全分野中2位)。

## 施策の効果

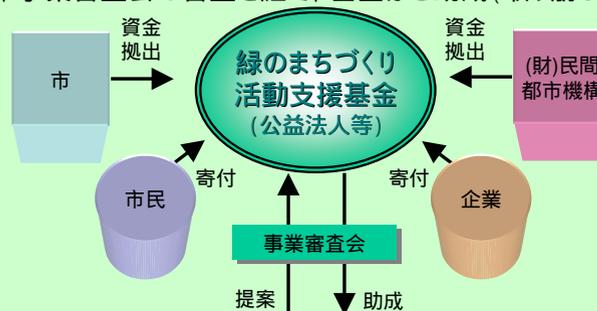
都市緑化制度をわかりやすいものとし、市民  
協働による都市緑化活動を機動的に支援  
受益と負担の適正化により、緑の豊かさ  
に対する市民満足度を効果的に維持・向上  
都市緑化活動を通じた「家族や地域、人の  
絆づくり」の推進

## 施策の概要

### 「緑のまちづくり活動支援基金(仮称)」の創設

市からの資金拠出とあわせて、市民・企業などから幅広く  
資金を調達し基金を造成。さらに、(財)民間都市開発推進機構の  
「住民参加型まちづくりファンド支援制度」を活用。

緑のまちづくり活動を実践しようとする個人・団体から企画提案を  
受け、事業審査会の審査を経て、基金から助成(取り崩し型)。



### 市民自らが提案・実践する「緑のまちづくり活動」を支援

(例) オープンガーデン



(例) まちなか緑化



(例) ポケットパーク



住民参加型まちづくりファンドの導入事例(全国18自治体)

(名古屋市)名古屋緑化基金建築物等緑化助成制度  
建築物の新築等に合わせた屋上緑化、壁面緑化などの緑化空間の確保などに関する事業に助成。  
(東京都)東京都都市緑化基金  
建物緑化による都市環境の改善・良好な都市景観の創出、コミュニティ活動等を通じた緑豊かな都  
市環境改善などに関する事業に助成。

**秋田市都市環境の創造および保全に関する審議会  
「都市緑化推進専門部会」委員**

区分	氏名	役職名	専門分野
審議会委員	井上正鉄 (部会長)	秋田大学教育文化学部教授	植物生態
	石沢真貴	秋田大学教育文化学部准教授	社会学
	太田邦男	元秋田市建設部長	建設
	蒔田明史	秋田県立大学生物資源科学部教授	自然環境
	佐々木文勝	秋田市緑化推進委員会委員長	緑化
	照井浩吉		市民
	引地君子		市民
	檜森悦朗	秋田県建設交通部次長	行政
専門委員	松浦稔実	樹木医	植物 (樹木)
	小林晴樹	秋田県建築士会秋田中央支部理事	建築士
	鈴木誠孝	秋田県立金足農業高等学校教諭	造園